

令和4年10月22日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 永田・内藤
電話 782 - 2111

ツシマヤマネコが死亡しました

令和4年10月22日に東山動植物園で飼育していたツシマヤマネコ（オス、15歳、愛称「ごくう」）が死亡しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 死亡したツシマヤマネコ

- ・愛称 : ごくう
- ・性別 : オス
- ・年齢 : 15歳（2007年5月9日福岡市動物園生まれ）

2 死因

頭部腫瘍

3 死亡までの経緯

今年6月下旬に頭部が膨らみはじめ、検査で腫瘍と判明したため7月に切除手術を行いました。その後、経過観察してきましたが、10月22日朝、飼育員がツシマヤマネコ舎で死亡しているのを発見しました。高齢个体ということもあり、普段から特に気にかけて飼育を行い職員が手を尽くしてきており、とても残念です。

4 エピソード

2007年5月9日福岡市動物園で生まれ、対馬野生生物保護センター、沖縄こどもの国、福岡市動物園で過ごした後、2015年11月25日に東山動植物園へ来園しました。2016年、2017年、2018年にメスとの間に4頭の仔をもうけましたが残念ながら成育しませんでした。かわいらしい外見とメスに対して紳士的なふるまいをする性格で、ファンの多い個体でした。

5 献花台

10月23日(日)から11月6日(日)まで、ツシマヤマネコ舎前に設置します。

【参考】

■東山動植物園のツシマヤマネコ飼育頭数（死亡した個体を除く）

2頭（オス1頭、メス1頭）

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

10施設29頭（オス14頭、メス15頭） ※令和4年10月22日現在
（今回の死亡個体を除く）

■ツシマヤマネコについて

長崎県の対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。生息数は90または100頭程度と絶滅が心配されており、国の天然記念物で、平成6年3月に国内希少野生動植物種に指定されました。体長 約50～60cm、体重 約3～5kgの大きさで、体全体の斑点模様、額の縞、太く長い尾や耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑でネズミやモグラなどを捕食します。絶滅危惧IA類（環境省レッドリスト2020）。

■写真



在りし日のごくう(令和4年2月21日撮影)
※写真データが必要な場合はご連絡ください。